

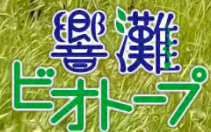
2023 年度第2 回グッドプラクティス塾

水辺の保全・活用における連携の

新たな形～水環境×OECM～

日本最大級の湿地・草地のビオトープに

おける多主体協働の保全活動



響灘ビオトープ 園長 安枝裕司

響灘ビオトープ

九州の北端
福岡県

響灘
ビオトープ

Google



福岡県 北九州市

かつては海だった場所が・・・

北九州市響灘地区

響灘
ビオトープ

かつての
海岸線

響灘
ビオトープ





響灘ビオトープができるまで

1980代



2010代



1980(S55) 埋立て開始

1986(S61) 埋立て完了



2009~(H21~22)調査 約500種

2020~(R2~4)調査 約800種

2012 (H24) 年10月 響灘ビオトープ開園



生物多様性の観点から重要度の高い湿地(重要湿地)
自然共生サイト(R5前期)



響灘地区は、脱炭素、循環経済、生物多様性のショールーム

広さ約41ha
(25mプール約110個分)

響灘

← 淡水池

砂礫地

草地

3つの
湿地

東西約700m

南北約600m

水源は雨水のみ



響灘ビオトープの 生態系



チュウヒ
環境省絶滅危惧ⅡB類



オオヨシキリ
福岡県準絶滅危惧



カヤネズミ
福岡県絶滅危惧Ⅱ類



ベッコウトンボ
環境省絶滅危惧ⅠA類



コガタノゲンゴロウ
環境省絶滅危惧Ⅱ類



ミナミメダカ
環境省絶滅危惧Ⅱ類



トノサマガエル
環境省準絶滅危惧

草地

湿地



環境学習、視察等（多主体、多世代）



アクティブラーニング（小学3～5年）



海外研修生視察



企業や地域団体の視察



市外からの修学旅行

環境体験学習、イベント等



カヤネズミのお宅訪問（球巣探し）



自然素材を使ったクラフト



月例の野鳥観察会



湿地の生き物観察

生物保全と調査



ベッコウトンボの頭数調査（市民参加）



ベッコウトンボ（幼虫）の人工飼育



北九州高校魚部とコラボして水生生物調査



チュウヒ調査

みらい
北九州 60th

北九州市制60周年記念



自然講演会

みんなで考えよう 「生物多様性」

令和5年

11月23日(木・祝)

14:00~16:00

北九州市響灘ビオトープ

(北九州市若松区響町1丁目)

定員 120名(応募多数の場合は抽選)

応募方法 電子申請又は往復はがき

※申込方法について詳しくは裏面をご覧ください

北九州市 自然講演会

検索

無料



五箇 公一 氏

国立環境研究所
生態リスク評価・対策研究室 室長
保全生態学者 農学博士

国や自治体の政策にかかる多数の委員会
および大学の非常勤講師を勤めるとも
に、テレビや新聞などマスコミを通じて
環境科学の普及啓発に力を入れている
NHK「視点・論点」、フジテレビ「全力！脱
カタイムズ」、TBS「教科書にのせたい！」
など、数多くのテレビ番組に出演



【講演会情報QR】



国立環境研究所
五箇公一先生

主催：北九州市、響灘ビオトープ共同事業体 / 協力：北九州市自然環境保全ネットワークの会

お問い合わせ ☎ 093-582-2239 (北九州市環境局環境監視課自然共生係)

響灘
ビオトープ

湿地・草地の保全（ヒメガマ、ヨシの伐根・除草）



水面が少なくな
った湿地
(2019)



除草・伐根に
より再生
(2023)



重機による伐根（環境省生物多様性保全推進支援事業）

【調査研究1】

AIの一種の深層学習法を使った鳥類の行動分析



検出鳥類の飛跡描画

自動検出された鳥類の一例



生物や自然環境に関心のある方だけでなく
多くの方に「生物多様性」を知ってもらい
一緒に取り組みたい！

市内の 野鳥観察場所を巡る スタンプラリー

(環境省生物多様性保全推進支援事業)



賞品 (野鳥観察会バスツアー)



賞品 (Jリーグフラッグベアラー)

響灘ビオトープにおける 異分野コラボ事業



夕日音楽会で生物の声に耳を傾ける



スポーツジャンボタニシ拾い



カヌーで水辺の生き物観察



ノルディックウォーキング

ホップを試験栽培（2019年4～7月、@響灘ビオトープ）

壁面緑化による
施設の冷房負荷
軽減にも貢献！



ビールの原料になる毬花（まりはな）

2023年度 地ビール ～市役所の上下水道部門ともコラボ～



HIBIKI FRESH HOPS
KITAKYUSHU
ダブリュー

福智山の湧水が流れ込む
道原浄水場の水道水と
じゅんかん育ちのホップを原料に
使用した北九州市制六十周年
記念の地ビールが誕生！



「KITAKYUSHUダブリュー」は軽渾ホップの会と北九州市上下水道局がコラボレーションし、官民連携、市民参加型のホップ栽培といった特色を活かして醸造（ブリュー・Brew）した地ビールです。福智山の湧水が流れ込む道原浄水場の水道水とじゅんかん育ちのホップを原料に使用しており、爽やかですっきりとした味わいのドイツで古くから親しまれるケルシュスタイルのビールで、ほどよい苦みを感じられます。
ラベルには若松ジャズと生ホップ、若戸大橋をモチーフとしたデザインマンホールを使用しています。

みらいつなぐ北九州 60th

軽渾ホップの会
KITAKYUSHU DABRYU
HOPS

北九州市
上下水道局の
キャラクター
「スイッピー」

ホップ栽培や
イベントなど
最新情報は
こちら

Webでの
ご購入は
こちら

同等の収穫を
期待

	A	B
供給水	下水処理水	下水処理水
肥料	下水汚泥由来の肥料	鉄鋼スラグを含む肥料
鉢数	16鉢	16鉢
備考	昨年度、収穫量が 多かった	新規

- 浄化センターでホップ栽培
- 再生水を供給
- 下水汚泥由来の堆肥を活用
- 全国的に数少ない緩速濾過方式の浄水場の水を地ビールに利用
- 市制60周年ラベル（デザインマンホール使用）

自然再興型第6.5次産業による次世代のためのまちづくり

～第一次産業×第二次産業×第三次産業＋生物多様性～



まとめ

- 産業廃棄物処分場跡地も二次的自然として生物多様性空間に変身できる
- 多様な生態系の中でも湿地・草地の減少は顕著であるため響灘ビオトープの存在意義は大きい
- 湿地・草地に限らず身近な自然環境は人が手をいれて保全する必要があり、そのためには多様な主体を巻き込むことが保全につながる
- 多くを巻き込むためには、他分野とコラボすることで間接的にアプローチする方法がある



響灘ビオトープHP

ご清聴ありがとうございました。

地球の歩き方の初の市版
「地球の歩き方北九州」を
持って響灘ビオトープへ
お越しください！

